

令和元年度 災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会

開 催 要 綱

1 目 的

平成 28 年の台風 10 号災害等による大雨等災害による災害ボランティアセンター活動を受け、北海道社会福祉協議会では平成 29 年 4 月から常設型の「北海道災害ボランティアセンター」を設置し活動を進めてきました。また、平成 30 年 9 月には北海道胆振東部地震が発生し、道内 3 つの町で災害ボランティアセンターが開設され、またその他の地域でも通常のボランティア活動の枠組みを活用した災害対応が展開されました。

災害発生時に各種ニーズを的確に把握し迅速に対応するには、災害ボランティアコーディネーターの活躍が欠かせません。

本研修は、災害ボランティアコーディネーションを担う人材の育成・資質向上、またそれに必要な災害ボランティアセンターの役割理解の促進を図ることを目的として開催します。

2 主 催 北海道災害ボランティアセンター（北海道社会福祉協議会）

3 と き／ところ ※今年度は、道内 3 会場で開催します。

①札 幌／令和元年 5 月 27 日（月）～28 日（火）（2 日間）

場所：かでの 2. 7 8 2 0 研修室（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 1 番地 ☎011-204-5100）

②旭 川／令和元年 6 月 4 日（火）～5 日（水）（2 日間）

場所：大雪クリスタルホール 第 2・3 会議室（旭川市神楽 3 条 7 丁目 ☎0166-69-2000）

③函 館／令和元年 10 月 29 日（火）～30 日（水）（2 日間）

場所：ホテルサンシティ函館 大ホール（函館市松風町 1 3 番 1 4 号 ☎0138-27-0030）

4 参加対象 ・社会福祉協議会職員

・行政職員（危機管理及び災害時ボランティア受け入れ計画担当、要配慮者支援担当者など）

・災害ボランティアネットワーク会議加盟団体の構成員

・災害時に支援活動を行う NPO 法人等のメンバー

・その他災害ボランティアセンター運営に関するもの

5 参加経費 無料

6 定 員 各会場 100 名

※会場の状況などから参加をお断りする場合がございます。

7 日 程

【1日目】

12:00	13:00	13:30	15:00	15:10	17:45	18:00
(1) 受付	(2) 開会・基調説明	(3) 講義	休憩	(4) 演習	(5) 質問票記入	

【2日目】

9:00	9:30	11:30	12:00
開場	(6) 演習	(7) 振り返り	

8 内 容

【1日目】

(1) 受付 (12:00～13:00)

(2) 開会・基調説明 (13:00～13:30)

「本研修の意図とねらい」

北海道社会福祉協議会に設置した常設型の災害ボランティアセンター設置の意図と事業内容を伝えるとともに、本研修の開催の趣旨を説明します。

(3) 講義 (13:30～15:00)

「災害ボランティアセンターの概要とその設置意義」

災害ボランティアセンターの目指すものやその実現に向けての考え方、社会福祉協議会が設置をする意義等について各地の実例を交えて学びます。災害ボランティアセンター運営について俯瞰的に捉える事で、自分の地域で災害ボランティアセンターの設置運営をする為に必要な事を考えます。

(4) 演習 (15:10～17:45)

「災害ボランティアセンターの運営を体感しよう ～災害ボランティアセンターマッチング体験カードゲームを通して～」

災害ボランティアセンターの業務はいくつかの分野に分けることができますが、ここではその重要な機能であるマッチングを体験し、センターの運営を体感します。センター立ち上げ期、立ち上げ2週間後の3連休初日、災害ボランティアセンター閉鎖期と、時期によって変化する課題に、あなたはどうか対応しますか？

(5) 質問票記入タイム (17:45～18:00)

本研修の演習では主にマッチングを通して災害ボランティアセンターの理解を深めていきますが、実際に被災地に赴いた経験のある方の中には、他分野において課題意識を持つ方がいることでしょう。それらの質問に対しては、2日目に被災地支援経験豊富な講師がお答えいたします。

【2日目】

(6) 演習 (9:30～11:30)

「災害ボランティアセンターの運営を体感しよう ～マッチングゲームを通して～」

前日の演習の続きを行います。

(7) 振り返り (11:30～12:00)

本研修を振り返り、各々の地域に戻った後に「何ができるか」を考えます。

また、前日の質問票に対して講師が回答をいたします。

一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター (PBV)

東日本大震災を受けて「人こそが人を支援できる」を理念に2011年4月に設立。以降「国内外の災害救援」「防災・減災への取り組み」を中心に活動を行っている。これまでに海外10ヶ国、国内34地域での被災地支援を実施、延べ9万人以上のボランティアをコーディネート。その経験を基に平時には様々な形で防災減災の取り組みを行っており、中でも防災・減災教育プログラムは「災害ボランティア」「自治会や地域住民」「災害ボランティアセンター運営者」「行政」等、対象や目的に合わせた研修や訓練はこれまで500回以上、延べ受講人数は14,000人以上にのぼる。

主な支援先…東日本大震災：宮城県石巻市等（継続中）、伊豆大島土砂災害：大島町
 関東・東北豪雨：茨城県常総市等、熊本地震：益城町・西原村等、
 九州北部豪雨：東峰村、朝倉市 等

主な研修実績…災害ボランティアセンター運営者研修

主催：全国社会福祉協議会

各開催地（茨城、福井、岡山、福岡等）県社会福祉協議会

民間事業者による災害時の社会貢献活動 ～企業に求められる災害支援～

主催：栃木県危機管理課

わが家の災害対応ワークショップ

主催：株式会社カインズ 等

10 参加申し込み

別紙参加申込書により、会場ごとの申込締切までに本会あてFAXにてお申し込みください。なお、参加申込書に記載された個人情報、本研修会の運営管理のみに利用させていただきます。（配布資料に氏名、所属・役職を記載した名簿を掲載いたします。）

※各会場申込締切期日

- ①札幌 令和元年5月20日（月）※当初より延長しました！
- ②旭川 令和元年5月22日（水）
- ③函館 令和元年10月16日（水）

11 その他

本研修を受講することにより、6月27日に厚真町で開催を予定している「初期支援チーム研修会（※開催要綱調整でき次第、再度ご案内いたします）」に参加できます。（受講予定者や平成29年度からの受講者も参加可能です。）この研修会は、胆振東部地震災害VC活動を踏まえ、災害ボランティアセンター立ち上げ初期に必要な知識を習得する研修会です。

また、引き続いて6月28日に、社協に限らずNPO等によるものも含め胆振東部地震の災害ボランティア活動を広く振り返る機会として「胆振東部地震災害ボランティア活動」を同地にて開催予定です。

自らの社協の体制構築及び道内の支援体制構築に向け、こちらの研修受講も併せてご検討ください。

12 申し込み、問い合わせ先

北海道災害ボランティアセンター（担当：宮川・三上）

（北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課内）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2.7 2階

☎ 011-271-0683 / FAX 011-271-3956